

# 令和5年度 市民講演会 「差別や偏見のない共生社会をめざして」 開催報告

## 1 開催状況

開催日時：令和6年3月2日（土）午後1時30分～4時

会場：中区役所ホール

参加者数：317名

## 2 プログラム

<第1部>

大前 光市 さん（義足のプロダンサー）

トーク&パフォーマンス「誰にでも輝ける場所がある」

**特別出演** KAZUKI さん

光る義足を用いたダンスからスタート。大前さんにしか表現できないパフォーマンスで、会場の皆さんを一瞬のうちに魅了しました。続くトークでは、大前さんのパフォーマンスを彩るさまざまな義足についての説明がありました。そして、プロダンサーを目指している最中に事故

に遭い、左ひざ下を失ったことで挫折を経験するも、家族の励ましにより強い気持ちで夢に挑戦できたことなどを話し、「講演会でしか踊らない」という「SWAN」を披露されました。短い足を活かした自分にしかできない踊りを見つけるまでの葛藤や苦しみが表現されているようで、すさまじい迫力に圧倒されました。

途中、手話パフォーマーのKAZUKIさんが登場して、会場の音楽に合わせて、手話で「思い出のラブソングス（庄野真代）」を披露する場面もありました。気持ちのこもった手話パフォーマンスが印象的でした。

終始、大前さんのユーモアある軽快なトークと胸打つパフォーマンスに、会場からはとても大きな拍手が沸き上がっていました。



<第2部>

トークセッション「共生社会の実現について考えよう！」

コーディネーター：田中 伸明 さん

（弁護士・名古屋市視覚障害者協会会長）

登壇者：大前 光市 さん（義足のプロダンサー）

KAZUKI さん（手話パフォーマー）

川瀬 麻絵 さん（弁護士）

神村 昌克（名古屋市障害者差別相談センター統括責任者）



コーディネーターの田中さんが自己紹介をされた後、登壇者がそれぞれの立場（障害当事者や当事者家族、障害者差別相談センター職員）から自己紹介を行いました。

その中で、障害当事者や当事者家族だからこそその苦労やかけがえのない経験などもありのままにお話しいただき、会場の皆さんも共感しながら聴き入っている様子がありました。

トークセッションの終わりには、大前さんが「(障害のある人に対して)フラットな気持ちで接すること、心のバリアフリーが大切」と締めくくられ、市民の一人として共生社会の実現について真剣に考えることができ、「視野が広がった」と感想を話す参加者もいました。

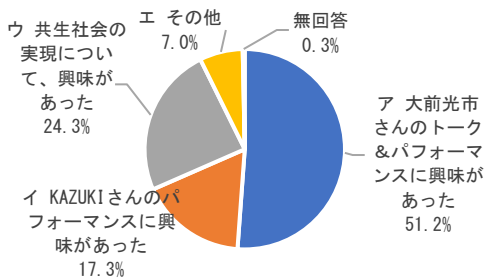


### 3 アンケート結果

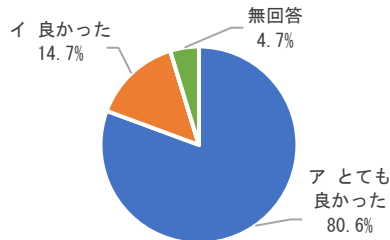
■アンケート回収数：191名（回収率 60.3%）

■主な質問と回答内容

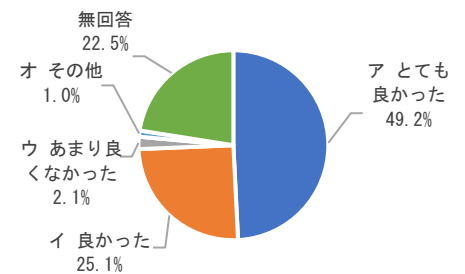
#### ①参加動機



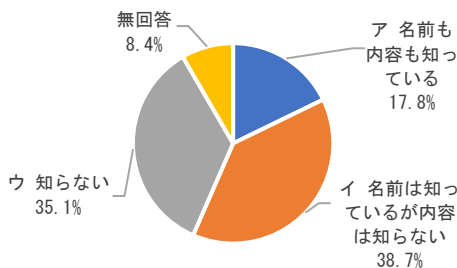
#### ②第1部の満足度



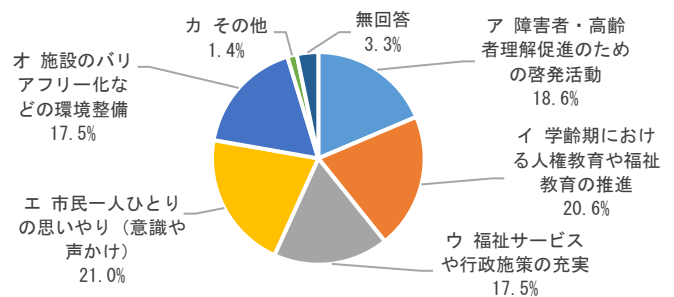
#### ③第2部の満足度



#### ④障害者差別解消法の認知度



#### ⑤共生社会の実現に向けての課題



#### ⑥感想

- 障害という言葉について、改めて深く考える機会をもらった。どういう手伝いが自分にできるかをよく考えてみたいと思う。
- 大前さんの「マイノリティであることを葛藤も含めて楽しんでほしい。普通の人より一手間二手間かかるけれど、その手間が人生や人間関係を豊かにする」という言葉にとっても励まされた。
- (障害を負った) 当時の気持ちが込められたダンスを観て、自分自身の魂が揺さぶられる感動を感じ、思わず涙が溢れました。記憶に残るとても良い講演会だった。